

職場における感染症の 効果的な対策 -VPDを中心に-

日時

2018年3月23日(金) 14:00~16:00

会場

神奈川産業保健総合支援センター

横浜市神奈川区鶴屋町3-29-1 第6安田ビル3階 (横浜駅から徒歩8分)

感染症から従業員を守るために知っておきたい



職場のリスクとなる感染症の脅威



ワクチンで防げる病気 (VPD) について

麻疹、風疹、結核、B型肝炎、
日本脳炎 etc...



県の風疹対策事業について

無料の抗体検査、
予防接種費用の助成など

参加費無料

先着50名

(申込は裏面)

講師 神奈川県衛生研究所 所長 高崎 智彦 (医師)

前国立感染症研究所ウイルス第一部室長、
日本ウイルス学会理事、日本感染症学会評議員

神奈川県健康危機管理課 主事 山本 理子

VPD: Vaccine Preventable Diseases

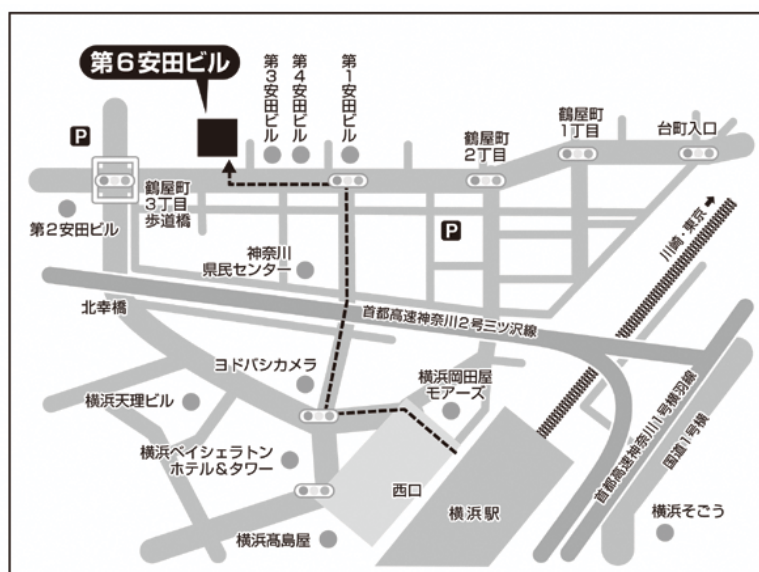
主催 神奈川県健康危機管理課

(独)神奈川産業保健総合支援センター

お申込みは、「**神奈川県産業保健総合支援センター**」で検索。
ホームページの
「**研修・セミナー・交流会** 現在受付中の研修はこちらから」
のご案内からお申込みください。

<https://www.kanagawas.johas.go.jp/kensyu/>

※ 定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。



神奈川県産業保健総合支援センター

〒221-0835

横浜市神奈川区鶴屋町3-29-1
第6安田ビル3階

《最寄駅》JR、東急東横線、京
浜急行線、相模鉄道線、横浜市営
地下鉄「横浜駅」から徒歩8分

電話 045-410-1160

FAX 045-410-1161

風しんの一番の怖さは「先天性風しん症候群」。
妊婦さんが感染すると、お腹の赤ちゃんに高い確率
で難聴、白内障、心疾患などの障がいを引き起こす
とされています。

風しんが全国的に流行した平成25年、患者のほと
んどが成人で、通勤時や職場での集団感染が多く報
告されました。

**生まれてくる赤ちゃんを守るためには、妊婦さん
だけでなく、パートナーや一緒に働く人たちも、み
んなで予防することが大切です。**



本セミナーの内容や、県の感染症対策に関するお問合せは、県健康危機管理課へ

電話 045-210-4793 FAX 045-633-3770

メール kenzou-kansen@pref.kanagawa.jp